

選考内容及び日程等について

【選考内容及び日程】

<第1次選考>

種類	内容	実施日
筆答	教職教養、教育関連の法規、教育公務員の倫理（服務規律）、教育時事、思考力・判断力を問う問題（文章理解、判断推理、資料解釈、数的処理等）（択一式）	6月13日（土） 【予備日：6月14日（日）】
面接	集団面接	6月30日（火）～7月5日（日）のうち1日を指定

<第2次選考>

種類	対象となる校種教科等	内容	実施日	
筆答	小学校	国語、社会、算数、理科、英語についての専門テスト（択一式）	8月8日（土） 【予備日：8月9日（日）】	
	中学校 養護教諭	出願した校種教科についての教科専門テスト（択一式及び記述式）		
実技	中学校	音楽	ピアノ弾き歌い、アルトリコーダー	8月8日（土）
		美術	描写、立体	8月23日（日）
		保健体育	水泳	8月3日（月）
			器械運動（マット運動）、球技、陸上競技	8月1日（土）
		英語	リスニング、スピーチ及び英語による口頭試問	8月8日（土）
面接	全校種教科等	個人面接	8月18日（火）～8月22日（土）のうち1日を指定	

<結果発表>

第1次選考：7月24日（金）予定 第2次選考：9月29日（火）予定

*発表方法は、本人あてに合否を通知します。

（合格者の受験番号を午前10時当協議会ホームページに掲載予定）

【採用先の決定について】

第2次選考合格者に対して、採用先希望調査を実施し、豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会、豊能町教育委員会、能勢町教育委員会への採用先の決定を行います。

ただし、必ずしも希望にそえるとは限りません。

【選考区分・受験資格・選考方法】※「大学3年生対象の選考」は【別表】を参照

受 験 資 格							
選考区分別要件	受 験 資 格	第1次選考		第2次選考			
		面接	筆答	面接	筆答	実技*	
共通要件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条に該当しないこと。 ○ 民法の一部を改正する法律（平成11年法律第149号）附則第3条第3項の規定により、従前の例によることとされている準禁治産者（心神耗弱を原因とするものを除く。）に該当しないこと。 ○ 令和8年（2026年）12月25日に施行予定の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律（令和6年法律第69号）第2条第8項に該当しないこと。 ○ 「出願に必要な免許状」を所有すること。 *令和9年（2027年）4月1日までに「出願に必要な免許状」を取得できなかった場合は、令和9年度（2027年度）大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テストの合格により得た一切の資格を失います。 						
	一般選考	○昭和40年(1965年)4月2日以降に出生していること。	○	○	○	○	(○)
	障害者対象の選考	○昭和40年(1965年)4月2日以降に出生していること。 ○身体障害者手帳、療育手帳（障害者職業センター等の公的判定機関で知的障害者と判定された者を含む。）、精神障害保健福祉手帳いずれかの交付を受けていること。	○	○	○	○	(○)
	豊能地区常勤講師等対象の選考	○昭和40年(1965年)4月2日以降に出生していること。 ○令和6年(2024年)4月1日から令和8年(2026年)3月31日までの間に豊能地区内の公立小学校・中学校・義務教育学校における講師又は養護助教諭としての勤務経験(常勤の経験に限る。)がある者で、その勤務経験が令和8年(2026年)3月31日までに通算12月(1年)以上あること。 ※令和7年(2025年)3月31日までの通算年数に、小学校・中学校・義務教育学校における正規任用の教諭、養護教諭又は任用の期限を付さない常勤講師(いずれも、任期付き採用や臨時的任用の場合を除く。以下「教諭等」という。)としての勤務経験(休職期間を除く。)を含めることができる。ただし、公立小学校・中学校・義務教育学校に限る。	○		○	○	(○)
	教職等経験者対象の選考	○昭和40年(1965年)4月2日以降に出生していること。 ○令和3年(2021年)4月1日から令和8年(2026年)3月31日までの間に、学校教育法上の国立学校、公立学校【※】、私立学校に教諭等として通算24月(2年)以上(休職期間を除く。)の在職経験があること。 【※】 大阪府、大阪市、堺市が実施した採用選考に合格し正規任用された教諭等として令和8年(2026年)4月1日時点で在職している者は、この選考区分に出願することはできません。	○		○	○	(○)
	大学等推薦者対象の選考(小学校、中学校)	○対象校種教科：小学校、中学校 ○昭和40年(1965年)4月2日以降に出生していること。 ○小学校又は中学校の教諭一種(専修)普通免許状取得の課程認定を受けている大学、大学院、教職大学院在籍者のうち、推薦要件を満たす者で、学長等が推薦する者。	○		○	○	(○)
	大学等推薦者小中チャレンジ対象の選考(小学校)	○昭和40年(1965年)4月2日以降に出生していること。 ○小学校の教諭一種(専修)普通免許状取得の課程認定を受けている大学、大学院、教職大学院在籍者のうち、推薦要件を満たす者で、学長等が推薦する者。 ※この選考区分は、小学校教諭と中学校教諭、両方の普通免許状を所有する(取得見込みを含む。)者が対象です。	○		○	○	

*実技テストを設定している校種・教科に限る。

【別表】

選考区分	受験資格	第1次選考*		第2次選考	
		面接	筆答	面接	筆答
大学3年生対象の選考 (小学校)	○大学3年次【※1】で令和10年(2028年)3月31日までに 大学卒業見込みの者。 ○小学校教諭普通免許状を令和10年(2028年)4月1日までに取 得見込みの者。 【※1】大学の最終年次の1年前の年次の者。 (大学院、短期大学、専門学校、科目等履修生は除く。)	○	○		

* 「大学3年生対象の選考」の対象校種教科等は「小学校」とし、第1次選考のみ受験可能とします。

第1次選考において一定の基準に達したと判定された合格者は、令和10年度(2028年度)大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト(「一般選考」又は「障害者対象の選考」の区分)の「小学校」を受験する場合に限り、第1次選考を免除し、第2次選考(教科専門テスト、面接テスト)から受験することができます。なお、令和10年度(2028年度)大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テストを受験する場合は、あらためて出願【※2】手続き(「一般選考」又は「障害者対象の選考」の区分)が必要となります。

【※2】令和10年度(2028年度)大阪府豊能地区公立学校教員採用選考テスト(「一般選考」又は「障害者対象の選考」の区分)の「小学校」の受験資格を満たす必要があります。